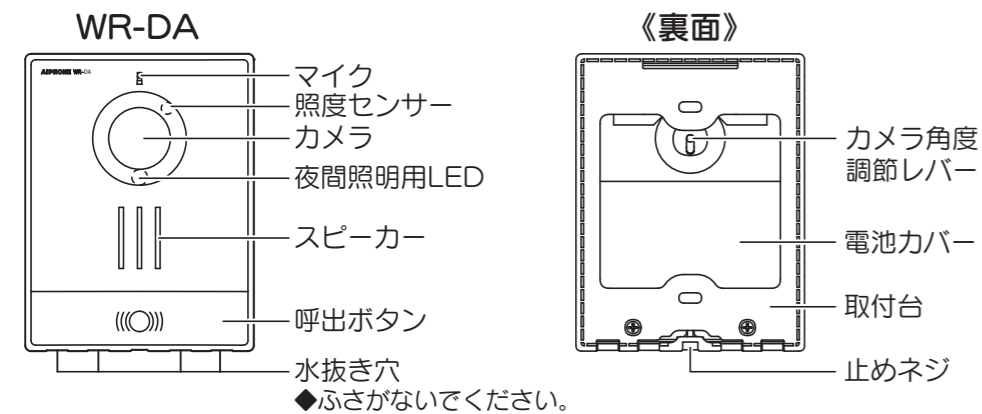
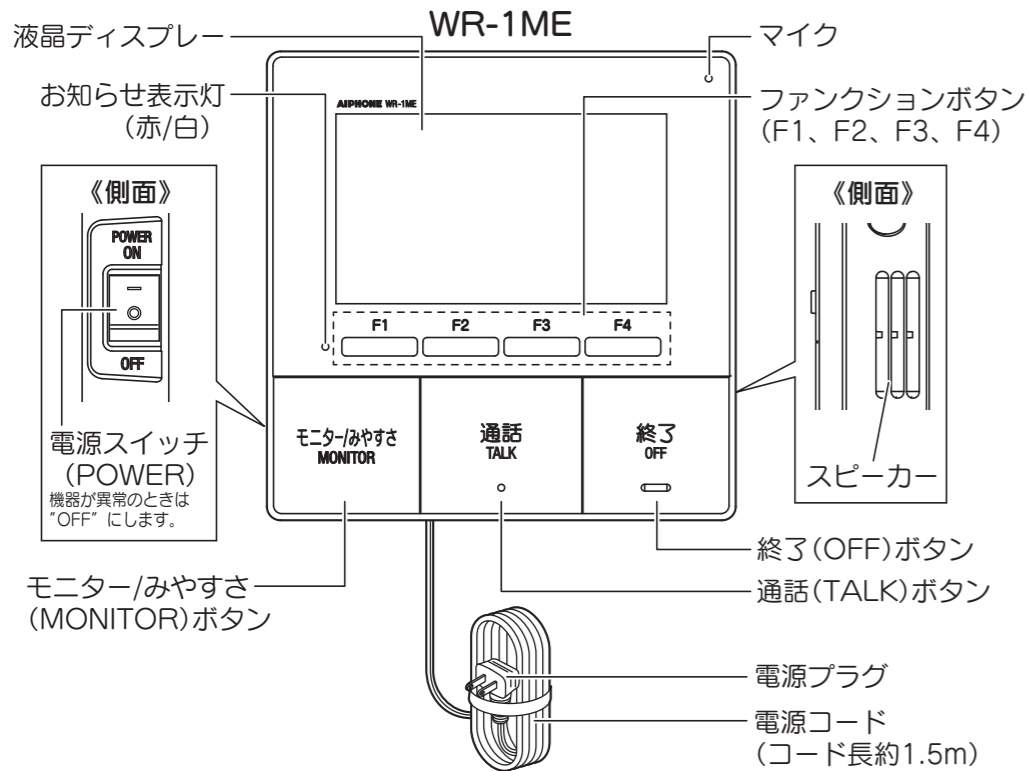


各部の名称



付属部品…確認してください。

工事説明書(本書)×1



ネジ×4



安全上のご注意×1



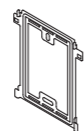
木ネジ×4



簡単操作マニュアル×1



取付金具×1 (本体に装着されています。)



安全上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ❌ 機器を分解・改造しない。火災、感電の原因になります。
- ❌ 電源プラグは根元まで差し込む。差し込みが不完全だと、火災、感電の原因になります。
- ❌ 指定の電源電圧以外の電圧で使用しない。火災、感電の原因になります。
- ❌ 本体は絶対に開けない。機器内部には電圧がかかっている部分があり、感電の原因になります。
- ❌ 機器は防爆仕様ではありません。酸素室など引火しやすいガスの充満する場所での設置および使用はしない。火災、爆発の原因になります。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ❌ 電源を入れた状態で取付・接続をしない。感電、故障の原因になります。
- ❌ 振動、衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。
- ❌ 機器本体は肩などの身体が容易に触れない場所に設置する。けがの原因になります。
- ❌ スピーカーに耳を近づけて使用しない。急に大きな音が出て、耳を痛める原因になります。
- ❌ 電池を機器内に挿入する場合、極性(プラスとマイナスの向き)に注意し、表示どおり入れる。電池の破損、液漏れの原因になります。

取付上のご注意

- 次の場所に設置すると故障の原因になります。
 - ・直射日光の当たる場所 (玄関子機は除く)
 - ・温度が上昇する場所 暖房機器、ボイラーなどの近く
 - ・液体、鉄粉、ほこり、油、薬品 がかかる恐れのある場所
 - ・湿度の高い場所 浴室、地下室、温室など
 - ・温度が低いところ 冷凍倉庫内、クーラーの正面など
 - ・直接湯気や油煙のあたるところ 熱器具や調理台のそばなど
 - ・温泉地などの硫黄環境
 - ・海岸の近くや直接潮風の当たる場所

- 下記のような場所へ設置すると、モニターに映る映像の映り具合に影響を与えることがあります。
 - ・夜間に街路灯などの光が直接入るところ
 - ・背景に空がよく映るマンションなどの階上にある玄関
 - ・人物の背景が白いところ
 - ・直射日光や強い光が当たるところ



- 50Hz地区ではカメラに直接蛍光灯の強い光が入ると、映像にチラツキが出る場合があります。光を遮るか、インバータ蛍光灯をご使用ください。
- OA機器、テレビ、ラジオなどの近くに取付けますと電波に影響をおよぼしたり雑音が入ったりしますので設置場所に注意してください。
- ネジの締付けにインパクトドライバーは絶対に使用しないでください。機器が破損する原因になります。
- 壁掛けにするときは落下しないようにしっかりと固定してください。
- 既設の玄関子機を取り外す場合は、ビニールテープを巻くなど配線処理をしてください。
- 既設のインターホンやチャイムなどからお取り替えの際、電源線 (AC100V) が通電されている場合は、販売店に相談いただき工事をご依頼ください。

お願い

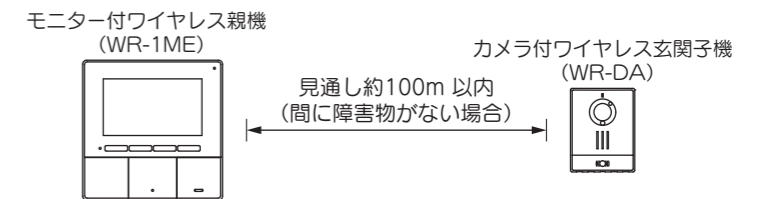
- 本機を設置および使用する際は、お客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、ご利用ください。
- 本機は、1.9GHzの周波数帯の電波を利用しています。詳しくは安全上のご注意の「電波について」をよくお読みのうえ、設置してください。

お知らせ

- 本書で使用されているイラストや画像は、実際の物と異なる場合があります。
- トランシーバーなどの業務用無線機器や携帯電話機を近接する場所で使用すると、誤動作の原因になることがあります。
- 調光器、インバータの電気製品や給湯器、床暖房のリモコンなど、無線機器の近くに設置すると、ノイズが発生して、誤動作の原因になることがあります。
- 放送局の近くなどの極端な強電界地域に設置すると、ノイズが発生して、誤動作の原因になることがあります。
- 室内からの暖気が流入し、外気との温度差によりカメラ部に結露が発生することがあります。

ご注意

モニター付ワイヤレス親機・カメラ付ワイヤレス玄関子機の通信について



- 距離が離れていたり、見通し約100m以内でも間に次のような障害物があると、電波が弱くなり、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きて、使えないことがあります。
 - ・金属製のドアや雨戸
 - ・アルミはく入りの断熱材が入った壁
 - ・コンクリートやタタン製の壁
 - ・複層ガラスの窓
 - ・壁を何枚もへだてたところ
 - ・各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき
 - 電波が届く範囲内に設置してください。
- 〈モニター付ワイヤレス親機・カメラ付ワイヤレス玄関子機での通話について〉
- ・デジタル信号を利用した傍受されにくい製品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
 - ・補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。
 - ・近くで1.9GHzデジタルコードレス電話機やPHSなどが使用されている場合、正しく動作しないことがあります。

カメラ付ワイヤレス玄関子機に使用する電池について

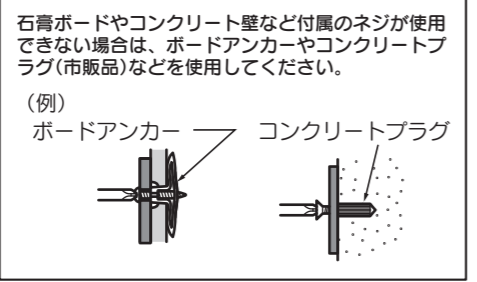
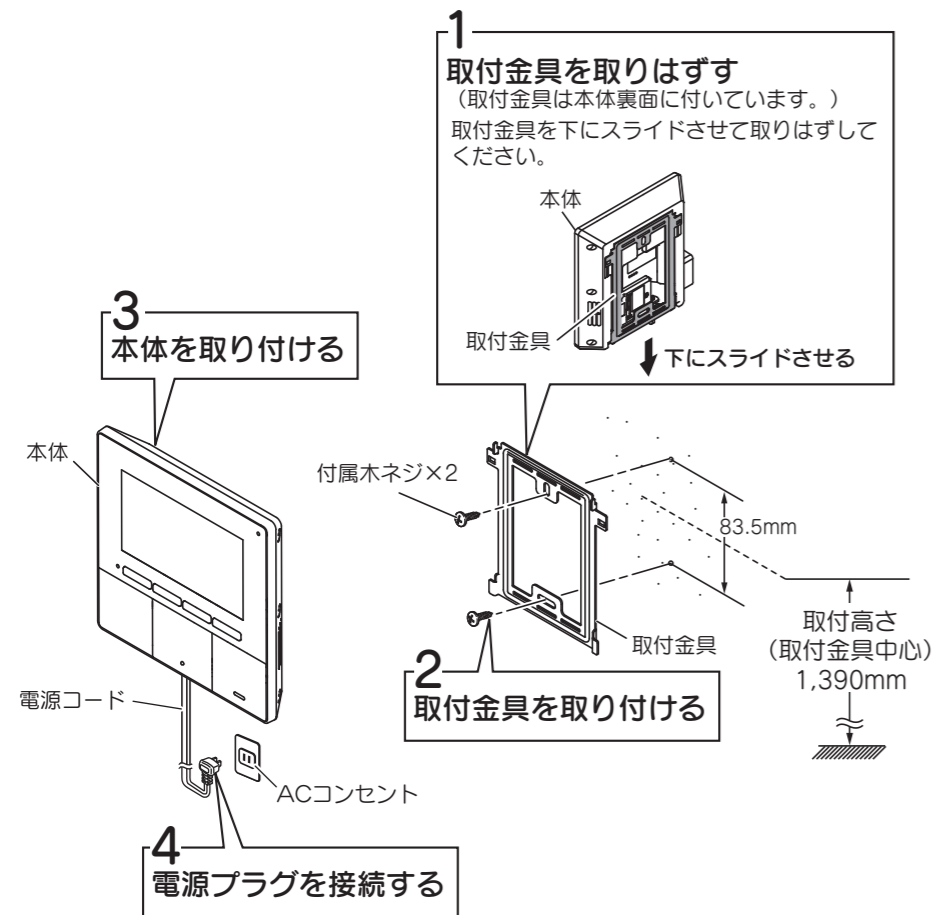
- カメラ付ワイヤレス玄関子機に使用する電池は、容量2500mAh以上のニッケル水素電池をご使用ください。他の電池を使用すると電池寿命が短くなる場合があります。
- アルカリ電池やリチウム電池などを使用する場合は電池の保証温度・湿度を守ってご使用ください。電池が液漏れし、故障の原因になります。リチウム電池を使用する場合は、製品の破損防止のため、公称電圧1.5V以下のものをご使用ください。
- 種類、銘柄、容量、使用推奨期限の異なる電池を混用しないでください。

簡単操作マニュアル・安全上のご注意は必ずお客様にお渡しくたさい。

取付方法

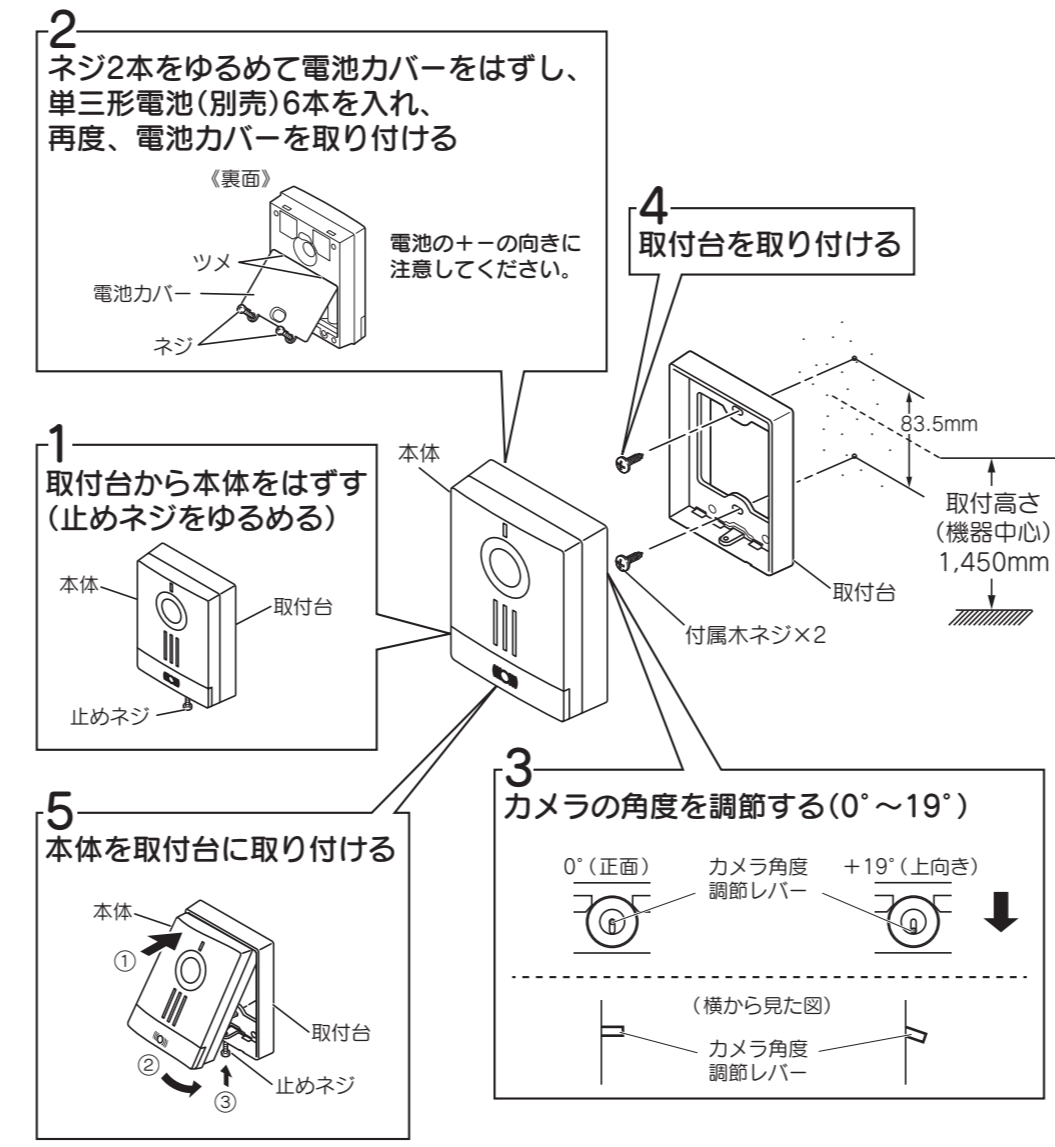
■モニター付ワイヤレス親機

- 本体の上下左右に20cm以上の空きが必要です。(誤作動、通話の途切れ防止のため)
- モニター付ワイヤレス親機を埋め込まないでください。
- 他の機器(床暖房リモコンなど)から本体を20cm以上離して設置してください。特に、給湯器用リモコン(インターホン機能付)からは本体を約40cm以上離して設置してください。(誤動作防止のため)
- 壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避けてください。(通話の途切れ防止のため)
- 電源スイッチが左側にあります。操作できる場所に設置してください。
- 他の無線機器から本体を3m以上離して設置してください。

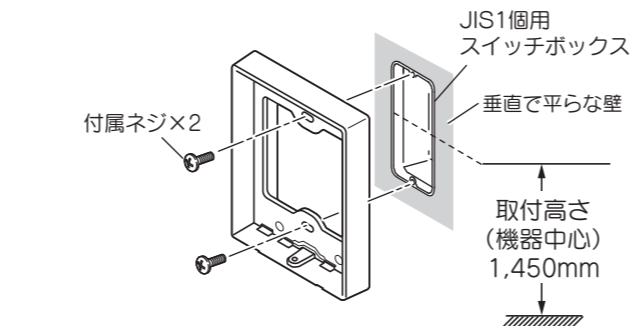


■カメラ付ワイヤレス玄関子機

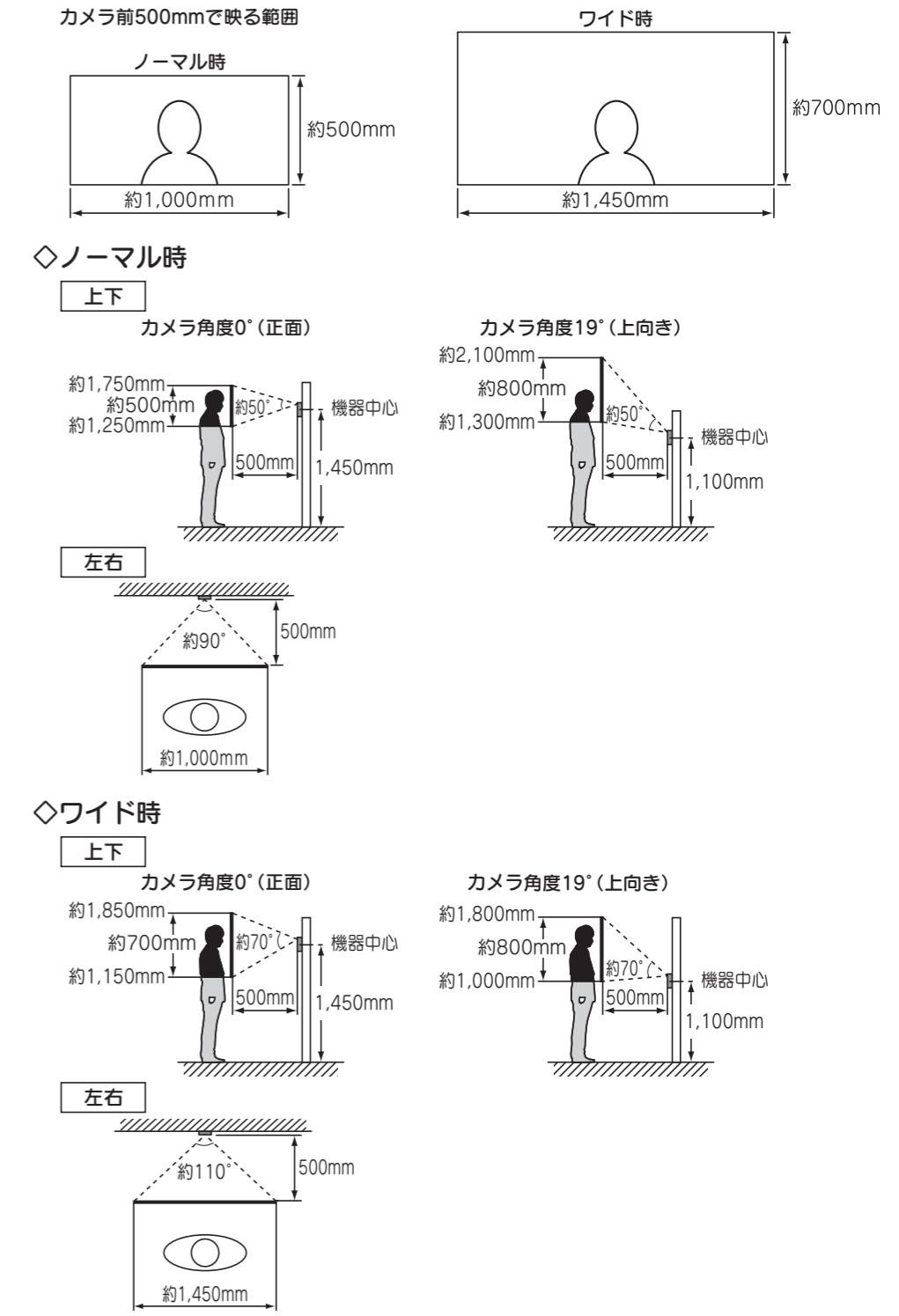
●壁面に取り付ける場合



●スイッチボックスに取り付ける場合



●取付位置と撮像範囲



・夜間の映りをさらによくするために、照明の設置をおすすめします。設置の際は、照明が直接カメラに入らないよう取付位置にご注意ください。

取付後の動作確認

❗ 機器取付後は電源スイッチをONにして、正しく動作するかを必ず確認してください。